

観光地域づくりフォーラムを開催し、芦別の新たな魅力探る



3月19日、「あしべつ観光地域づくりフォーラム」が総合福祉センターふれあいホールで開催され、北海道宝島旅行社社長の鈴木宏一郎さんが、「芦別ならではの観光地域づくり」について講演しました。

これは、芦別の魅力を再発見し、観光振興につなげようと空知総合振

興局の協力で開催されたもので、約60人が参加しました。

鈴木さんは、道内各地での体験型観光プログラムづくりの事業経験をもとに講演。「歴史、文化を観光のネタとして発信し、滞在・交流人口の拡大を」などと話し、参加者は興味深そうに耳を傾けていました。

さまざまなパフォーマンスで魅了、吹奏楽ポップスコンクール

星の降る里ウィンズバンドプロジェクト主催の第8回吹奏楽ポップスコンクールが3月20日、市民会館で開催されました。

これは、北海道内各地の中学生の吹奏楽団体が、演奏技術だけでなく、ステージ上でさまざまなパフォーマンスを競うコンクールです。

今年は、芦別中学校がインフルエンザのため欠場しましたが、札幌市や旭川市などから9校が参加。映画のテーマ曲やディズニーメドレーなど、工夫をこらした動きで聴衆を楽しませました。審査の結果、東神楽中学校が初のグランプリに輝きました=写真=。



チベットからの留学生など、北日本自動車大学校で入学式



専門学校北日本自動車大学校の入学式が4月5日、同校で行われました。

今年の新入生は、自動車整備科とボデーリペア科合わせて19人。このうち2人は、チベットからの留学生です。

入学式では、齋木修二校長が「自動車産業界は、目まぐるしく進化

している。一流の技術を身に付けるのはもちろんのこと、人間性も磨き、厳しい中にも充実した学生生活を送ってほしい」と式辞を述べました。

これに対し、新入生を代表して永山雄司さんが「所期の目標を達成できるよう精進します」と誓いの言葉を述べました=写真=。

市内スーパー3店舗と市が災害時生活物資確保などの協定結ぶ

市は4月5日、マックスバリュ北海道(株)、(株)道北アークス、(株)豊月フードD芦別本店と「災害時における応急生活物資の確保及び気象情報の周知に関する協定」の調印式を行いました。

これは、大規模な災害が発生した場合、市の要請に基づいて、同社が市内で経営するスーパー3店

舗が避難所などへ食料品や生活物資を供給するというものです。

また、気象庁から大雨や大雪などの警報が発せられた場合には、気象情報を各店内の買い物客に周知するなど、市民及び観光者等への防災意識の高揚と安全な行動を啓発する目的で協定を結びました。

